

2022年4月30日裁判司法研究会議事録

1. 概要

【日時】2022年4月30日午後2時から午後4時10分ごろまで

【会場】Zoomによる遠隔研究会および会議

【出席者】

玉江、小林、南京家、巫（4名）

2. 情報交換、議論

【会の活動について】

(巫) 私の研究会に対する姿勢が、会を発展させる障害になっているという意見を聞いたのだが、私はやり方にこだわらないので、誰かが仕切ってほしい。

(小林) 会の活動を積極的に行っているのは巫さんだけでしょう。どういう意味でそういうことを言うのか。

【玉江さんの医療に関する弁護士相談】

(玉江) のどの手術をされてから、声が出なくなり、息苦しくなった。病院の治療が適切だったのか、疑問がある。病院はその説明を十分にしてくれていない。また、瞼の治療をしてもらいたいのだが、住居付近の病院には治療を拒否された。ひどい話だと思う。幸い相談に乗ってくれる弁護士さんが見つかったので、病院と交渉などしたい。何とか良い成果を得たい。

【弁護士の懲戒請求について】

(小林) 5月中に前の事件の執行猶予が明ける。その事件で依頼した弁護士の弁護については、不満がある。懲戒請求の時効は3年のようなので、請求したいと思う。その後、再審請求も考えている。

【小林さんが紹介してくれた本について】

(巫) 小林さんが次の本を紹介してくれ、田中耕太郎氏の司法行政や司法判断にかかわる部分のコピーを送ってくれた。

宗岡嗣郎他『犯罪の証明なき有罪判決—23件の暗黒裁判』、九州大学出版会、2022年1月25日

九州大学関係者の著書のようなのだが、田中耕太郎に関する記述には、大いに納得できる。司法を批判する著書は多いが、このように系統的に司法の問題点を分析しているものは少ないのではないか。本を購入して全体を読

んでみたい。

3. 次回の予定

2022年5月14日(土) 14時から16時くらいまで、Zoom会議。Zoomホストは小林さんの予定。

2022年5月2日

巫召鴻